Japanese association of educational psychology

たくましい社会性に関する研究（6）

○首藤　敏元　　山岸　明子　　二宮　克美
（埼玉大学教育学部）　（順天堂医療短期大学）　（愛知学院大学教養部）

目　的

ソロモン（Solomon, D.）らは子どもの社会道徳的発達の促進を目的とする児童発達プロジェクトを立案し遂行する中で、教師と子どもたちによって作り出される共同体としての学校生活の重要性を指摘している。そして、子どもの主体性を尊重した学級経営と、子ども同士および教師と子どもたちとの協同的な関係を共同体の核として位置づけている。

研究（6）では、子どもの認知した学校生活とたくましい社会性との関連性について検討することが目的である。昨年の発表に中学生のデータを加え、主体的な生活と協同的関係を軸とした学校生活に関する尺度の作成と、それらとたくましい社会性の各変数との関係を検討する。

方　法

＜質問項目＞(1)子どもの認知した学校生活　(a)主体的な生活　「先生は、生徒それぞれ自分のやり方でやるようにさせてくれる」「このクラスの生徒は、きまりが不公平だと思えば、そのきまりを変えることができる」など合計7項目を用意し、5段階評定を求めた。(b)協同的関係　「クラスのみんなは、仲良しではなくても、おたがい助け合っている」「クラスのみんなはあまり仲良しではない」など合計10項目を設定し、5段階評定を求めた。(2)たくましい社会性　(a)孤独感　「学校ではひとりぼっちだ」「助けが必要なとき、学校で私を助けてくれる人はいない」など合計7項目を用意し、5段階評定を求めた。(b)民主的価値意識　意見表明・活動参加の平等性と、話し合い・妥協の重要性を問う場面を3種類ずつ設定し、それぞれの意識の程度を4段階で評定を求めた。(c)共感性、自立感、向社会的コンピテンス、自己効力感、向社会的行動経験、対人交渉方略に関する質問項目は研究（4）（5）と同様である。

＜被調査者、調査時期・方法＞研究（4）（5）と同様である。

結果と考察

1.学校生活に関する尺度の作成

項目－全体相関で有意に達した項目を対象に主因子法による因子分析を行い、固有値1以上の2因子を抽出してバリマックス回転を行った。因子負荷量のパターンから、主体的な生活と協同的関係に対応した因子が確認され、それぞれ主体性因子と協同因子と命名された。

主体性と協同の尺度得点を算出し、学年と性を要因とするANOVAを行った結果、いずれにおいても学年の主効果のみが有意であった。小学5年生は中学2年生よりも主体的で協同的な学校生活を送っていると強く認知していた。

2.学校生活とたくましい社会性との関連(Table 1)

主体性と協同は学年と性の影響を除いた後も全てのたくましい社会性変数と有意に関係していた。学年と性と学校生活を独立変数とした重回帰分析の結果からは、共感、向社会的コンピテンス、自己効力感、孤独感、協調的な対人交渉に学校生活（特に協同）が強く影響していることが示された。

全体的に協同的関係の影響が強いことから、caring community としての学校生活がたくましい社会性の発達を規定することが示唆される。

〔本研究は、日本生命財団による特別研究助成「教育力研究」（代表者：祖父江孝男）の一部である。〕

Table 1　学校生活がたくましい社会性に及ぼす影響　n=761

たくましい社会性変数	主体性 偏相関係数(注1)		主体性 β係数(注2)		協同 偏相関係数(注1)		協同 β係数(注2)		寄与率の増加(注3)
共感性	.234	**	.120	**	.329	**	.287	**	11.58%
自立感	.122	**	.088	*	.129	**	.101	*	2.33%
向社会的コンピテンス	.272	**	.143	**	.418	**	.370	**	18.57%
自己効力感	.272	**	.199	**	.268	**	.196	**	10.14%
孤独感	-.181	**	.008		-.540	**	-.554	**	28.94%
民主的価値意識	.193	**	.112	**	.273	**	.239	**	8.48%
向社会的行動経験	.265	**	.195	**	.247	**	.171	**	8.76%
対人交渉方略（協調志向）	.264	**	.168	**	.313	**	.244	**	11.23%

*$p<.05$　**$p<.01$

(注1)学年と性の影響を統制した偏相関係数
(注2)学年、性、主体性、協同を独立変数とした重回帰分析でのβ係数
(注3)(学年、性、主体性、協同を独立変数とした重回帰分析の寄与率)－(学年と性を独立変数とした重回帰分析の寄与率)

NII-Electronic Library Service